

記

【会名】2021年度第2回生物遺伝資源 国際ワークショップ
「植物遺伝資源のABS対応ーオランダ遺伝資源センターの運営」

【日時】2021年12月17日(金) 16:00~17:30 予定(接続開始 15:45)
* 15:55 迄にご参加をお願いします。

【講演者】・Theo van Hintum 氏 [ワーゲニンゲン大学 遺伝資源センター 植物部門ジーンバンク長]
研究分野は植物遺伝資源管理で、そのテーマは、新技術(ゲノミクス、IT等)のジーンバンク運営への応用、環境ニッチモデリング、また、国際的なABS政策のジーンバンクに与える影響等、多岐に渡る。数多くの査読およびコンサルタント業務を行い、これまでに発表した論文は70を超える。

・Martin Brink 氏 [ワーゲニンゲン大学 遺伝資源センター 上級研究員、およびオランダの名古屋議定書NFP]
同センターにおいて、遺伝資源関連ポリシー、特にアクセスと利益配分(ABS)に関して業務を行う。また、オランダのABSに関するナショナル・フォーカル・ポイント(NFP)を務めている。2021年1月に公開された、EUにおける名古屋議定書を実施するための規則に関するEUガイダンスの作成に関わった。

【講演内容】オランダジーンバンクでのABS対応やジーンバンク管理について

【配信方法】ウェビナー(ZOOM)

【視聴方法】参加登録後に届く、登録完了メール等をご覧ください。

【事前質問】参加登録時に、本会に関する質問をお寄せ頂く「質問とコメント」欄を設けております。
ご協力をお願いいたします。

【資料入手方法】開会1時間前(12月17日(金)15時)にご登録のメールアドレス宛に、資料ダウンロード方法等をご連絡します。

【言語】英語(同時通訳あり)

【登録方法】参加無料ですが、参加には事前申し込みが必要になります。

http://nig-chizai.sakura.ne.jp/abs_tft/2021/11/19/international_bioresource_workshop2021_2/
よりお申し込みください。

以上